

ファイルの暗号化/復号化プログラム

動作表示として点滅させる 

リスト上のファイルのクリック
で削除処理を可能とする。
又、ダブルクリックで削除する。

リスト上のファイルクリックによるファイル指定はできない。
尚、ダブルクリックで削除する。

- 復号化ファイルリストに表示しているファイルの一括削除を実施する。
- 選択したファイルを削除する。
- 選択したファイルを復号する。
- 選択したファイルを暗号化ファイルとする。
- 読込先あるいは処理先のフォルダを選択する。

選択した読込先フォルダパスを表示する。

選択した処理先フォルダパスを表示する。

選択した(処理前の)ファイル名を表示する。

暗号化/復号化後のファイル名を表示する。

説明ボタン(本ファイルをWeb上で開く)

[フォルダ選択]時の対象を設定する。

ダブルクリックによる削除時の取扱い指定。

復号処理後、処理前ファイルの取扱い指定。
(削除ファイルはゴミ箱に入れず、PCから削除)

暗号実行後の暗号化ファイルのファイル名扱い。
(削除ファイルはゴミ箱に入れず、PCから削除)

暗号化後のファイル名の取扱い

暗号化後も、暗号前のファイル名を引き継ぐ。

暗号化時、暗号化ファイル名も暗号化する。

設定したファイル名で暗号化ファイルを生成する。

- ・ クリックによりパスワードを初期化する。
- ・ パスワード入力欄(チェックで入力文字を表示する) 尚、プログラム起動直後は入力待ち状態とする。
- ・ 現在状況をプログラム起動時の状態に戻す。 尚、パスワードはそのまま維持する。
- ・ プログラムを終了する。
- ・ 処理するファイル選択の有効性を示す(○/✕) 尚、[✕]表示の場合は、処理可能なファイルが選択されていないので選択する必要がある。
- ・ 処理先フォルダの個別指定状況を示す(○/✕) 尚、個別指定しない場合は、読込先フォルダに同じ。
- ・ メッセージ表示領域